応援メッセージ

川口市長　岡村 ゆり子

川口商工会議所女性会のご尽力により、8回目となるウーマンビジネスプランコンテストが開催されることとなりました。女性ならではの視点や感性を活かした、未来への可能性を描き出す素晴らしいアイデアが広く発信されることを楽しみにしております。

本市では、女性の活躍・創業支援事業「AFEKT」を実施し、連続講座等により、創業を目指すかたや創業後間もないかたを支援しております。これまで多くのかたにご参加いただき、川口商工会議所女性会との連携のもと、ネットワークづくりが進んでおります。

このコンテストが、皆様が今後さらに活躍していくための大きなステップとなることで、皆様の夢と挑戦が川口に新しい風を吹き込み、ともに未来を切り拓いていけることを心より期待しております。

川口商工会議所会頭　細野博隆

昨年は、日本憲政史上初めてとなる女性総理大臣の政権が発足しました。また本年2月、川口市においても初の女性市長が誕生し、女性活躍への期待とともに、経済の好循環が生まれ始めているところでございます。

ウーマンビジネスプランコンテストは、自身の想いやビジョンを社会に向けて発信する貴重な機会です。

多様な価値観や視点を活かした女性ならではのビジネスは、地域や社会に新たな気づきと変化をもたらす可能性を秘めています。

本日は、事業の完成度や収益性だけでなく、そこに込められた社会・地域への思い、未来への可能性について、ぜひ自信を持って発表していただきたいと思います。

また、この場で生まれる出会いが、女性経営者のつながりを広げ、次なる挑戦への力となることを願い、応援のメッセージといたします。

私たちと一緒に地域を元気にしていきましょう

川口商工会議所 女性会

川口商工会議所女性会は、女性の力で地域を元気にするために、女性経営者らにより設立された団体です。

Only one ～私たちだからできることがある～
前進するのは今!

川口商工会議所女性会 HP
kcci-joseikai.org

第8回 ウーマンビジネスプランコンテスト

起業家として踏み出そう！

大きな夢も一歩から！

BIZCON
ビズコン
in Kawaguchi

川口商工会議所女性会が
あなたの夢を後押しします！

最終プレゼンテーション

大賞
～賞金～
10万円

2026年 3月10日(火)

13:00/開場　13:30～16:00　入場無料

川口市立映像･情報メディアセンター メディアセブン
川口市川口1-1-1　キュポ･ラ館７階（JR川口駅東口徒歩1分）

観覧申し込みは
こちら

kcci-joseikai.org
川口商工会議所女性会 HP ◀

主催 / 川口商工会議所女性会

後援 / 埼玉県、川口市、川口商工会議所、（公財）埼玉県産業振興公社（創業・ベンチャー支援センター埼玉）、埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、川口信用金庫、青木信用金庫、日本政策金融公庫浦和支店、城北信用金庫、埼玉縣信用金庫、巣鴨信用金庫、埼玉新聞社、テレ玉、株式会社ジェイコム埼玉・東日本 川口・戸田局、FM Kawaguchi、マイシティ じゃ～なる、株式会社デジタル SKIP ステーション、埼玉高速鉄道株式会社、全国商工会議所女性会連合会

タイムスケジュール Schedule

13:00	開場・受付
13:30	開会・あいさつ
13:45	ファイナリストによるプレゼンテーション
14:50	基調講演
15:35	表彰
15:55	講評

審査方法

厳正な一次審査を通過したファイナリスト5人による公開形式のプレゼンテーション
審査委員による審査

審査基準

新規性、優位性、市場性、将来性、成長性、実現可能性、
川口市経済・社会への貢献、経営者の熱意、資質など総合的に判断

基調講演

テーマ『事業を発展させるための女性リーダーの視点』

栗田 美和子 氏　株式会社デリモ　代表取締役会長

【プロフィール】
日本大学生産工学部卒業後、1978年株式会社栗田製麺所(旧・株式会社クリタエイムデリカ、現・株式会社デリモ)入社。2012年代表取締役社長、現在は代表取締役会長。
株式会社デリモでは、調理麺や調理済みレンジ商品、惣菜などの加工食品を製造・販売し、青森から名古屋までのエリアで量販店・外食産業向けに安全・安心で手軽な食を提供している。
特例子会社株式会社スマート代表取締役を務めるほか、一般社団法人日本惣菜協会副会長、一般社団法人埼玉県生産性本部会長、一般社団法人外国人食品産業技能評価機構理事長として、食品産業の発展と人材育成、多様な人材の活躍推進に取り組んでいる。

審査委員

（順不同・敬称略）

委員長	福井 千波	川口商工会議所　女性会会長 / 株式会社コマドデザイン　代表取締役
副委員長	藤田 昭一	川口商工会議所　地域振興委員会 副委員長 / フジテック株式会社　代表取締役
委員	森 尚子	中小企業診断士 / 公益財団法人埼玉県産業振興公社（創業・ベンチャー支援センター埼玉）　女性創業支援アドバイザー
委員	今井 祐之	日本政策金融公庫浦和支店　国民生活事業　融資第三課長
委員	小島 望	川口短期大学　ビジネス実務学科　教授・ビジネス実務学科長
委員	小松 君恵	川口商工会議所　女性会顧問 / 株式会社コマーム　取締役会長
委員	町田 治子	川口商工会議所　女性会直前会長 / 株式会社都ローラー工業　専務取締役

ファイナリスト Finalist

1 わんちゃんの健康寿命をのばし、ご家族とずっと一緒に暮らせるケア ～スウェーデン式ドッグマッサージで、ずっと自分の足で歩ける未来へ～

スウェーデン式ドッグマッサージcocowa　**オードウェイ　若奈** 氏

Profile

スウェーデン式ドッグマッサージを通して、愛犬の健康とご家族の暮らしを支える事業です。理学療法をもとにした手技で筋肉や関節、血流やリンパの働きを整え、歩きやすさと心身の安定をサポートします。看護師としての経験と愛犬の介護経験を活かし、シニアケアや予防ケアとして日常に取り入れることで、介助が必要となる期間をできる限り短くし「介護が大変だから手放す」そんな悲しい選択をしなくてすむ未来へ。1日でも長く、家族でいられる時間を増やしたいという想いで、この事業をはじめます。

大学病院勤務を経て長年訪問看護に従事、IFAアロマセラピストとして緩和ケアにも関わる。愛犬の介護経験から「もっとできることがあったのでは」との想いから、2025年にスウェーデン式ドッグマッサージセラピストの資格を取得、現在は看護師の仕事をしながら、イベントや訪問でドッグマッサージをおこない、犬にも人にも寄り添うケアを実践している。

2 身近な自然体験から、子どもの発見を育むポータルサイト

Mili design　**成相　遥** 氏

Profile

子育て世帯向けに、地域の公園や緑地など、日常生活圏内にある身近な自然や体験イベントの情報を発信するポータルサイトを構築・運営します。
【身近な自然体験】をコンセプトに、遠出や特別な準備をしなくても、日常の延長線上で川口の自然に親子が「ちょっと行ってみる」きっかけを提案します。地域資源を活かしながら、子どもの好奇心や発見につながる原体験を育む環境づくりを目指します。

静岡県伊豆市出身。自然豊かな環境で育ち、幼少期にトノサマガエルを両手にした記憶が原体験となる。
大学卒業後はDHCをはじめ、化粧品・健康食品メーカーで約14年間勤務。商品パッケージなど資材制作に携わり、その後Web制作事業で独立。
2児の母として子育てをする中で、身近な自然体験の情報不足を感じ、Web制作の経験を活かした本事業を立ち上げる。

3 支援の狭間で孤立する親をつなぐオンラインコミュニティの構築

Studio Harso　**金澤　佳澄** 氏

Profile

通常学級に在籍しながら特別な教育的支援を必要とする児童は、全国で約70万人と推計されています。支援につながれない親は、学校で注意を受け続け、孤立しがちです。本事業では、そうした「支援の狭間」にいる親のための匿名オンラインコミュニティを運営し、安心して悩みを共有できる場を提供。集まった声や実態を可視化し、すべての子どもが自分らしく成長できるよう自治体への提言につなげていきます。

実弟がADHDで不登校を経て22歳で自死。息子も発達特性があり、療育を受けながら成長しています。二つの当事者経験から、早期支援と声を出せる場の大切さを痛感。子どもの発達特性で悩む親が孤立せず、必要な支援につながれる仕組みづくりを目指して、Web制作会社での経験を活かし起業準備中。

4 身近なロールモデルと出会い、学問から仕事へ繋ぐ伴走型教育事業

Future Link Lab　**和田　虹奈** 氏

Profile

本プランは、高校生に向けて進路選択を支援する教育事業です。新社会人が大学で専攻した学問と現在の仕事とのつながりを語る講演会をはじめ、AO入試のメンター制度、自己分析講座、進路の悩みを相談できる座談会などを実施します。高校生が身近なロールモデルと出会うことで、なんとなく進路を選ぶのではなく、自身の将来像を具体的に描けるようにすることを目的として活動します。

川口市出身。法政大学、メリーランド大学に在学中。高校のPBL学習で全国2位受賞。画一的な進路指導に課題意識を感じ、高校での学びが進学に生きた経験から進学支援に関心を持つ。トビタテ留学制度でイギリス・オーストラリアへ留学、進路教育と個別指導を研究。帰国後、新宿区でイスラム教理解促進プロジェクトを実施。大学ではキャリアデザイン学を専攻し母校でキャリアサポートやジェンダー学研究に従事。

5 「わからない」をひとりにしない！システムの困りごとゼロを目指すスマホ教室

おでかけスマホケア　**野口　翔子** 氏

Profile

「わからない」を、ひとりにしない。
セルフレジの前で困っていた高齢者の方に声をかけたことが、この事業の始まりでした。操作に戸惑いながら立ち尽くしていた姿が、今も忘れられません。便利なはずのスマホが、不安の種になっている人がいます。本事業では、スマホや身近なデジタル操作を少人数・個別に丁寧に支援し、地域に身近な困りごとに寄り添う学びの場をつくります。

関西学院大学経済学部卒業後、システムエンジニアとして、農林水産省、最高裁判所、日本学生支援機構のシステム開発に従事。内定後、システムエンジニアとしての勉強を始め、基本情報技術者の資格を取得。
日本学生支援機構の大規模再開発プロジェクトにおいて副リーダーとしてプロジェクトメンバーをまとめてきた。